

新刊図書の紹介

多自然川づくりポイントブックⅡ 川の営みを活かした川づくり

【中小河川に関する河道計画の技術基準；解説】

平成20年3月に国土交通省河川局より「中小河川に関する河道計画の技術基準について」が通達されました。この技術基準が作成された背景や検討経緯、また具体的な事例を用いて解説することにより、技術基準の普及を図ることが必要となっています。

そこで、多自然川づくりのポイントブックの第2弾として、中小河川の良好な河川環境の形成を目的に、現段階における技術的知見をもとにした中小河川における河道の平面・縦横断形の設定方法を示した本書を発刊することとなりました。

(主要目次)

第1章本書の目的および使い方

1.1 目的

1.2 本書の使い方

1.2.1 本書が対象としている河川

1.2.2 本書が対象としている河道条件

1.2.3 本書の構成

第2章多自然川づくりにおける河道計画の基本

2.1 通知「中小河川に関する河道計画の技術基準について」の概要

2.2 中小河川における河道計画の平面・縦横断形の設定に関する基本事項

2.2.1 計画高水位の設定

2.2.2 法線及び川幅

2.2.3 横断形

2.2.4 縦断形

2.2.5 粗度係数

2.2.6 管理用通路

2.2.7 維持管理の考慮

2.3 中小河川における平面・縦横断形の設定

2.3.1 多自然川づくりにおける河道計画の流れ

2.3.2 現況河道特性の把握と目標設定

2.3.3 計画高水位の概略設定

2.3.4 平面形の概略設定

2.3.5 横断形の設定

2.3.6 縦断形の設定

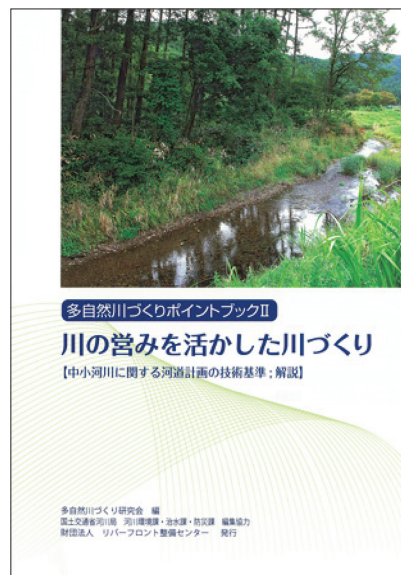
2.3.7 設定内容の妥当性確認

2.3.8 河道計画の検討時のチェックリスト

2.4 横断形のモデル計画集

第3章具体例で見る検討の流れ

巻末資料「中小河川に関する河道計画の技術基準について」通知文



多自然川づくり研究会編

発行：(財) リバーフロント整備センター

A4版・94頁・定価1,500円(税込)

本書のご購入は、裏面の購入申込書に必要事項をご記入の上、直接(財)リバーフロント整備センターにお申し込み下さい。なお、下記ホームページからもお申し込みいただけます。

ホームページ・アドレス<http://www.rfc.or.jp/>

お詫びと訂正

「RIVERFRONT Vol.62」号「環境統合型の技術としての多自然川づくり」の著者に誤りがありました。ここにお詫びと訂正をさせていただきます。読者の皆様、ならびに関係各位にご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫びいたします

誤) 九州大学大学院 教授 鳥谷 幸広

正) 九州大学大学院 教授 鳥谷 幸宏